

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-2		事業名	「元気ショップ」の拡充
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課就労・相談支援担当係 藤崎 Tel211-2936			
全 体 計 画				
事 業 内 容	<p>平成18年12月に開設した「元気ショップ」の安定した運営を目指すとともに、平成22年度をめどに2号店を開設する。</p> <p>併せて、類似の取組として障がい者団体が運営するJR札幌駅構内の「福祉ショップいこ～る」の集客向上に向けた取組等を実施し、授産製品の販路拡大とPRを図っていく。</p>	<年度別の事業内容>		
		・19年度 元気ショップ、福祉ショップいこ～るの運営	・20年度 元気ショップ等の安定運営と2号店開設に向けた調査の実施	・21年度 2号店開設及び既存施設の機能強化に関する基本計画等を作成
事 業 内 容 ・ 量 ・ 場 所	平成19年度事業内容(決算) (20年度調査経費からの計画事業化)	平成20年度事業内容(決算)		
	・元気ショップ2号店開設等調査 1,397千円			
規 模 ・ 件 数 等	平成21年度事業内容(決算) 元気ショップ2号店開設調査の結果、既存店舗を拡充して、物品販売を進めていく方向性を決定し、平成22年度に設計、工事を実施することとした。また、併せて、福祉ショップ「いこ～る」の店舗内整備を実施する。	<p><b>平成22年度事業内容(予算)</b></p> <p>■拡充概要          ①元気ショップ          元気ショップ店舗をふれあい広場の方へ拡充し、売り場面積を現在の約2倍(52.42→110.8m<sup>2</sup>)とし、現在委託販売をしている対象商品を500品目から約1,000品目に増やすとともに、車いす使用者等が円滑に利用できるよう、店舗内通路スペースを確保する。          ②福祉ショップ「いこ～る」          元気ショップで好評な食品の充実やイートインスペースを設置したり、電照広告版を設置し、認知度の向上を図る。</p> <p>■工事概要          実施設計後、概ね11月頃をめどに工事を実施。年度内開設を目指す。</p>		

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-2		事業名	'元気ショップ'の拡充				
達成目標の状況								
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)		
'元気ショップ'の拡充	—	—	調査	既存店舗拡張	拡張工事・開設	開設		
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>■市民との連携、市民参加 元気ショップ、いこ～るを訪れる市民の製品購入を通じた障がい理解の促進が期待できる。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]元気ショップ、いこ～るともに障がい者の雇用の場となっており、2号店開設は雇用機会の拡大と障がい者の所得増が期待できる。また、今後、資金協力といった観点も含め民間企業を巻き込んだ展開を検討していかないと考えている。 [人材協力]施設等の製品の品質向上を目指して、民間の専門家をアドバイザーとして派遣する取組を別事業で行っており、当該取組との連携を図り民間企業等の優れた人材や技術を生かしていきたいと考えている。 [情報協力]今後、情報といった観点も含め民間企業を巻き込んだ展開を検討していかないと考えている。 [その他の協力]今後、民間企業を巻き込んだ展開を検討していく中でさまざまな協力のあり方を議論していきたいと考えている。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 20年6月から企業や団体・個人がさまざまなかたちで元気ショップを応援するサポーター制度を開始し、現在までに31団体・個人、総勢1,500名余が販売機会の提供や定期的な購入、元気ショップの周知活動などで活躍している。</p>								
評価(成果)	課題							
元気ショップに関しては立地条件が良いこと、イベント開催などによるPR効果から開設当初の目標どおりの売上げとなっており、その結果、障がいのある方の働く意欲の向上につながっている。今後、安定運営化に向け、市民や民間企業をさらに巻き込んだ展開も検討していきたいと考えている。	どのような販売方法等が安定的な売上げにつながるか検討していく必要がある。 また、拡充後には、より効率的な運営方法について検討する必要がある。							
今後の事業の予定・方向								
障がい者協働事業として実施する飲食系サービスや各施設が独自に展開している店舗などとともに元気ショップをグループ化するなど、より効果的な授産製品の販売促進といった視点にも留意したい。								

様式イ

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3)

(単位:千円)